

令和2年度 大阪府栄養士会地域活動栄養士情報交換会

グループ【第1段階】のアンケート回答結果（要約）

実施期間：令和2年5月13日～5月31日

I. 貴グループの活動・事業で、新型コロナウイルス感染拡大防止策による現在の状況について

1. 活動・事業にどのような影響が出ていますか？

1) 活動が停止したこと

ほぼすべての活動・事業が停止。

2) 現在も活動していること

- ・ Web を利用したグループ内での情報交換、LINE を使ったビデオ通話での打合せ。
- ・ 書面評決での総会。
- ・ 電話での特定保健指導。
- ・ 感染予防対策を徹底しての栄養食事指導や個別相談や会議。
- ・ 栄養指導媒体やレシピ集の作成。
- ・ 教育委員会を通じて中学校、幼稚園への食育通信の発信。

3) 他のグループに聞きたいこと

- ・ 活動再開の判断基準。
- ・ 「新しい生活様式」での講座や料理教室などの実施方法。
- ・ 委託事業等で活動停止に対する休業補償について各地活で交渉しているか。それぞれの地活または栄養ケア・ステーションで会員の休業補償を考えたか。

2. 現在の状況下、一般府民に対して社会貢献のような活動や行動をされていますか？

- ・ 栄養ケア・ステーションとして地域住民からの栄養に関する問い合わせ等に資料を送るなどの対応。
- ・ フェイスブック・インスタグラムで情報提供。
- ・ 社会福祉協議会からの依頼でこどもの日のレシピ提供や、高齢者への「お元気ですかメール」に簡単レシピや免疫力アップの記載協力。

II. 今までの活動で貴グループが困っていることやその他ご意見・ご質問等をご記入ください。

1. 医療機関（病院・医院など）での栄養食事指導について

記載なし

2. ケア会議 助言者について

- ・ 人手不足で全ての出席依頼に対応できない。無報酬のため、市から栄養士会への依頼をしてくれない。
- ・ 理学療法士の意見を期待されていると感じる。
- ・ 食事については細かな聞き取りができていないことが多い。
- ・ アドバイスの効果が不明。
- ・ やりがいのある仕事と思っている。

3. 介護予防教室について

- ・ 担当者を増やすことに苦慮している。
- ・ 新しいリーフレットや今までとは違う形式の方法を検討中。参考になる事例や意見があれば聞きたい。
- ・ 無報酬での依頼あり、会として依頼を受けた場合の報償費について。

4. 特定保健指導について

- ・ 会員相互のスキルアップが必要。
- ・ 市から依頼はない。どのように市に働きかけ、依頼を受けるかが課題。

5. 料理教室・栄養教室について

- ・ 調理テーマを考えるのに苦労している。調理テーマは身近なもの、興味のあるものが多くなった。
- ・ 身体障がい者・知的障がい者・男性料理教室等を実施。色々なスキルの方がおられ、個人個人に適切に関わっていくのが大変。
- ・ 料理教室を通して毎日の食事に何かヒントをみつけてもらえればうれしく思う。

- ・依頼を受ける機会が減少。どのようにすれば幼稚園児への食育をする機会が増えるのか知りたい。
- ・より多くの方や子供たちに安全で効率よく料理教室を開催する方法はないか。

6. 登録栄養ケアチームについて

- ・登録申請のための指定研修会を、(公社)日本栄養士会の研修会や各学会参加についても研修会として認めて欲しい。
- ・地域活動のグループとは別に、栄養ケアチームの立ち上げを検討中。

7. 栄養ケア・ステーションについて

- ・地域のケアマネジャーから訪問栄養食事指導の依頼はあるが、対象者、医師との契約が障害になりボランティアでの訪問になっている。
- ・栄養士会が医師会との調整などで契約をバックアップしてほしい。

8. (公社)大阪府栄養士会ホームページについて

- ・必要なことは毎月の栄養大阪などに掲載されているので、「栄養士会のホームページ」はほとんど見ることがない。
- ・一般向けHPが明るく、以前よりかなり見やすくなり、垢ぬけた画面になった。
- ・色々な情報が見られて参考になる。必要な情報がより早く確認できるので勉強になる。
- ・各地活グループの活動が分かるようになり良い。

9. その他(地域活動部会へのお願いなど)

- ・巷の情報に惑わされない、根拠のある学習研修会の実施。
- ・今後どのような形で専門職としての声を発信するのが良いのか苦慮している。各グループの工夫などを聞ける機会があると良いと思う。
- ・栄養ケアチームの活動報告を集約し、それぞれの栄養ケアチームの活動に生かせるようにして欲しい。
- ・会員数の推移と会員確保の工夫について知りたい。
- ・仕事の依頼が少ない。他の地域では、どのような団体に声をかけているのか聞きたい。

(文責 地活 吉山美和)